

「だいち2号」観測データの解析による吾妻山周辺の地殻変動

吾妻山周辺の広い範囲及び大穴火口付近で、衛星に近づく地殻変動が検出されました。吾妻山の深部および大穴火口付近の浅部での膨張を捉えていると考えられます。

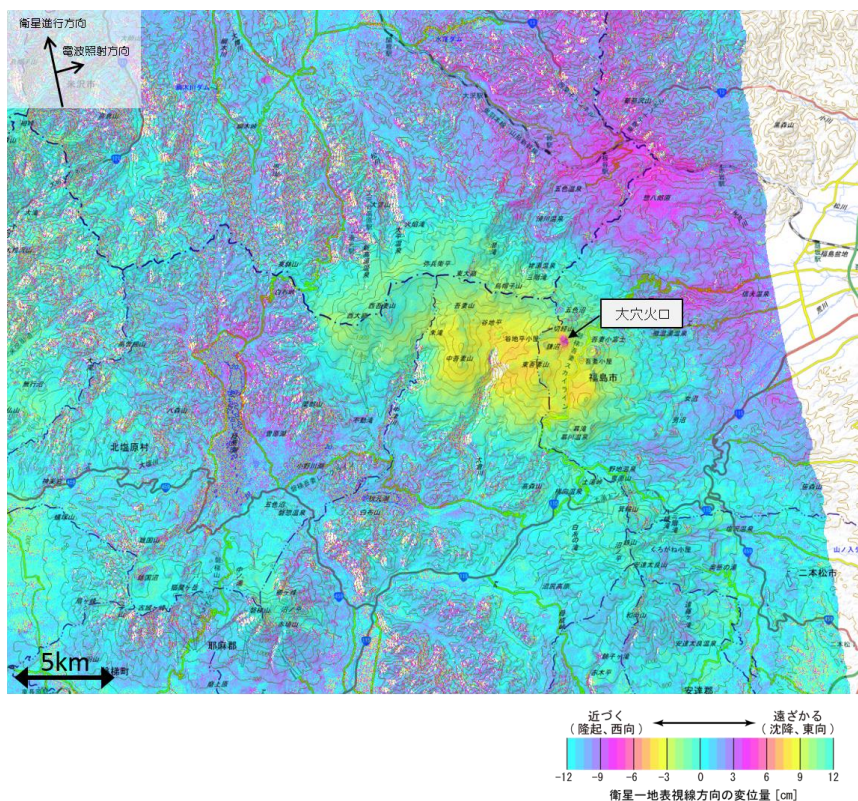


図1：2014年9月9日～2015年6月2日の解析結果（吾妻山周辺）

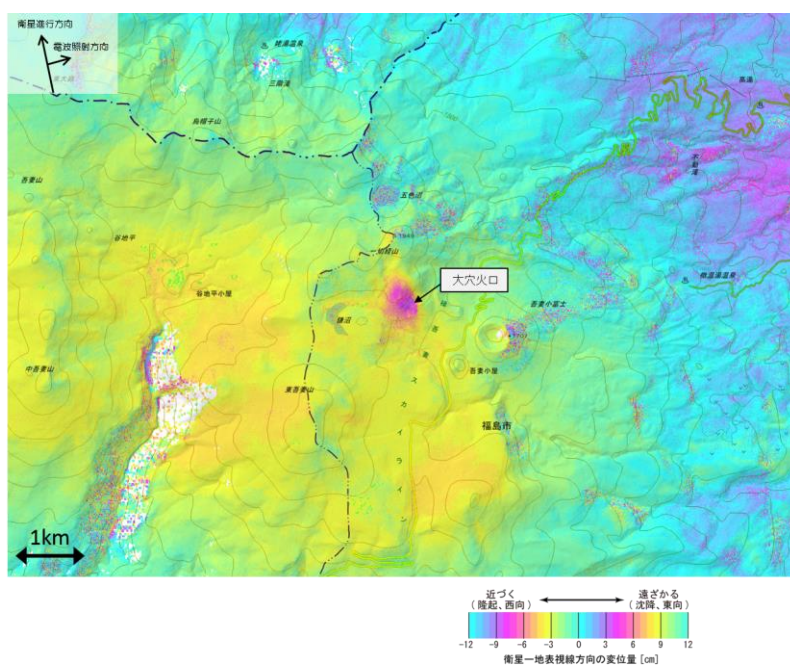


図2：2014年9月9日～2015年6月2日の解析結果（図1の大穴火口周辺を拡大したもの）

<解析結果からわかること>

- ・2014年9月9日と2015年6月2日の観測データを用いて解析を行いました（解析期間：9か月）。
- ・吾妻山山体の広い範囲で最大 5cm 程度※の衛星に近づく地殻変動が見られます（図1）。この地殻変動は、吾妻山の深部での膨張を捉えている可能性があります。
- ・さらに、大穴火口付近の直径約 1km の範囲では最大 9cm 程度※の衛星に近づく地殻変動が見られます（図2）。この地殻変動は、大穴火口周辺の浅部での膨張を捉えている可能性があります。

※ 干渉 SAR の精度は一般的には数 cm 程度とされています。また、衛星の観測条件が異なる場合、同じ地殻変動であっても、解析結果の見え方に違いが生じます。

今回の結果は速報であり、より詳細な分析等により、今後内容が更新されることがあります。国土地理院では今後も継続的に地殻変動を監視していきます。